

明治四十年三月改版

第四版  
兵語界說

海軍大學校

本書ハ海軍大學校ノ編纂ニ係ルモノナリ今全校長ノ承認ヲ得テ之ヲ覆刊シ本校生徒ニ頒ツ

明治四十年四月

海軍兵學校長 島村速雄

## 第二版 緒言

曩ニ海軍大學校ハ一定ノ用語ニ據リ兵術ヲ講究スルノ必要ヲ認メ假リニ兵語界說ヲ編纂セリ、其後多少ノ改正増補ヲ施シ茲ニ又其第二版ヲ發刊ス。

抑々全軍ヲ通シテ術語ノ定一セル事ハ獨リ平時ニ於テ斯術講究ノ便益アルノミナラス、實戰若クハ演習ニ際シ命令報告等ニ於ケル繁文ヲ省略シ、通信ノ連繫ヲ確實ニシ、其慣用ノ結果カ間接ニ作戰ヲ利スルコト言フヲ俟タス、是レ軍事ノ何タルヲ問ハス用語一定ノ必要アル所以ナリ。本校夙ニ此コニ見ル處アリシト雖モ未タ多數ノ術語ヲ蒐集スルコト能ハス、今回假定スル處ノ如キモ未タ二百ニ滿タサル僅少ノ兵語ニシテ唯々他日有識ノ士ヲ待テ之レカ大成ヲ期スルノ基礎ヲ創置スルニ過キス。而テ今回撰定ノ方針ハ單ニ其範圍ヲ兵術ノ一科ニ限り主トシテ左ノ諸項ニ準據セルモノナリ。

一、現時我海陸軍ニテ慣用セル兵語ハ成可丈ケ之ヲ存用シタルコト

二、用語ノ字數ヲ可成丈ケニ字ノ熟語トシテ其記憶識別ニ便ナラシメタルコト

三、意義異ルモ發音同一ナル用語ハ凡テ異音ニ改メタルコト

四、其出源ノ歐語一ツニシテ譯語ノ二ナルモノハ其一ツヲ捨テタルコト

案スルニ我國近世ノ兵語其ノ出源ヲ泰西ノ兵書ニ探レルモノ多シト雖モ輓近帝國海軍ノ隆興ハ萬般ノ軍事ニ於テ又一々模範ヲ海外ニ需メス、自ラ案畫シテ獨立ノ國勢ニ適合スルモノヲ自撰セサル可ラサルノ時期ニ到達セルカ故ニ、今回假定ノ用語中尙ホ改正ヲ要スルモノ、又更ニ追加増補スヘキモノ等ニ就キ所見ヲ持セラル、將校ハ其多少ニ拘ラス隨時案ヲ具シテ本校ニ送附アランコトヲ望ム。

明治三十六年一月十日

海軍大學校長 坂本俊篤

### 第三版 附

日露戰爭ハ吾人ヲシテ益々兵語定一ノ必要ヲ感セシメタルノミナラス、從來假定セル僅少ノ兵語モ已ニ我海軍信號書ニ挿入セラレ、此戰役ヲ利セシコト少シトセス、今回本校ノ再開セラル、ト共ニ又本版増刷ノ必要ヲ生シ更ニ多少ノ修補ヲ加ヘ兵語界說第三版ヲ發刊スト云爾

明治三十八年十二月一日

海軍大學校兵學教官

### 第四版 附 言

第三版ニ少許ノ修補ヲ加ヘ茲ニ又兵語界說第四版ヲ増刷ス

明治四十年三月十五日

海軍大學校兵學教官

## 兵 語 界 説

一、凡ソ人類カ干戈ヲ以テ相争鬪スル現衆ヲ總括シテ兵戰(Warfare)ト謂フ

二、兵戰ニ従事スル人衆ヲ兵軍(Troops)ト謂ヒ、兵軍ノ團隊ヲ軍隊(Army)ト謂ヒ、軍隊ヲ常備スル國ヲ軍國(Military countries or nations)ト稱シ。軍國ノ軍隊ヲ國軍(National army)ト稱ス、國軍ハ之ヲ海軍及陸軍ニ大別ス

(附記) Armyノ歐語ハ陸軍ト慣用サレアレトモ其兵學上ノ根源ハ軍隊ノ意義ナリ、故ニ近時歐米ノ兵家中 Sea armyノ語ヲ以テ海軍(Navy)ニ換用セルモノアリ

(改正) 三、兵軍ノ人力及機力ヲ兵力(Force)ト謂ヒ、兵戰ヲ爲ス地域ヲ戰地(Zone of

warfare)ト謂ヒ、兵戰ヲ爲ス時間ヲ戰時(Time of warfare)ト謂フ

四、兵戰ハ其兵力、戰地、戰時ノ大小ニ準シ左ノ四種ニ大別ス

一、戰爭 (War)

二、戰役 (Campaign)

## 三、戰鬪 (Battle)

## 四、格鬪 (Combat)

五、戰爭ハ廣大ノ戰地ニ於テ遠長ノ戰時ニ亘レル大兵軍ノ兵戰ナリ、例ハ日清戰爭、米西戰爭ノ如シ

六、戰役ハ戰爭ノ範圍内ニ於テ一方面ニ起レル較ヤ長時日ノ兵戰ナリ、例ハ日清戰爭ニ於ケル朝鮮役、遼東役、山東役又ハ米西戰爭ニ於ケル攻馬役、比利賓役等ノ如シ

七、戰鬪ハ戰爭若クハ戰役ノ範圍内ニ於テ一局地ニ接觸セル對抗兵軍(全部若クハ一部ノ兵戰ナリ、例ハ日清戰爭ニ於ケル黃海々戰、平壤陸戰、旅順ノ海陸聯合戰等ノ如シ

八、格鬪ハ戰鬪ノ範圍内ニ於テ一地點ニ衝觸セル對抗兵軍(一部)ノ兵戰ナリ、例ハ黃海々戰、平壤陸戰等ニ於テ其諸地點ニ起レル小部隊ノ抗戰ノ如シ

(附記) 兵戰ニ於ケル兵力ノ多寡、戰地ノ大小、戰時ノ長短等ハ固ヨリ千狀萬態ニシテ小ハ個兵ノ一

地點ニ於ケル單鬪ヨリ大ハ地球ノ全面ヲ蔽ヘル海陸大軍ノ紛争ニ至ル迄大小ノ争鬪悉ク兵戰ナラサルハナシ、從テ其類別モ單ニ前記ノ四大別ヲ以テ盡セルモノニアラス、加之格鬪ハ戰鬪ヲ組織シ、戰鬪ハ戰役ヲ組織シ、戰役ハ戰爭ヲ組織シテ小大ノ兵戰相關繋シテ一大戰爭ヲ現出スル如ク界説スト雖モ此等組織ノ配合モ亦一定不變ノ常則アルモノニアラス、故ニ學者ハ兵學上ノ單純ナル界説ニ依リ兵戰ノ真相ヲ誤解セサルヲ要ス

九、戰爭ニ當リ直接間接ニ兵力ヲ消長スル有形無形ノ要素ノ數量ヲ**武力**(Military power)ト謂ヒ、戰鬪ニ當リ直接間接ニ兵力ヲ消長スル有形無形ノ要素ノ數量ヲ**戰鬪力**(Fighting strength)ト謂フ

(改正) 一〇、戰爭ノ戰地ヲ**戰域**(Theatre of war)ト稱シ、戰役ノ戰地ヲ**戰區**(District of Campaign)ト稱シ、戰鬪ノ戰地ヲ**戰場**(Field of battle)ト稱ス

(附記) 軍國ノ戰爭ニ當リテハ某戰域ハ對敵兩國ノ領土、領海并ニ其軍ヲ動かスニ利用シ得ヘキ其同ノ海面ヲ含有ス、故ニ戰域ノ大ナルモノハ時トシテ世界ヲ圍繞スルコトアリ、米西戰爭ノ如キ是レナリ、又戰役ニ於ケル戰區、戰鬪ニ於ケル戰場ノ如キモ固ヨリ明劃ナル區域ヲ存セス作戰ノ進行如何ニ依リ廣狹ノ度變化シテ定リ無シ、但シ空中及水中ハ現時ノ人智發達ノ程度ヲ以テ

未タ兵戰ニ利用スル能ハサルカ故ニ今世ニ於ケル大小兵戰ノ戰地ハ尙ホ地球ノ陸面ト海面以外ニ出ツルコト無シ

一一、兵戰ニ利用シ得ヘキ機具、物資、材料等ヲ**兵資**(War Resources)ト稱シ、直接兵戰ニ使用スル機具ヲ**兵器**(Weapon)ト稱シ、直接ニ敵人敵物ヲ殺傷破壊スル兵器ヲ**武器**(Arms)ト稱ス

一二、兵戰ニ於テ敵ニ對シ兵力ヲ運用スル技術ヲ**兵術**(Art of war)ト謂ヒ、兵術ヲ攻究スル科學ヲ**兵學**(Science of war)ト謂ヒ、兵術ノ原理ヲ**兵理**(Theory of war)ト謂ヒ、兵術ニ於テ則ルヘキ法則ヲ**兵術ノ原則**(Principle of art of war)ト謂フ

(附記) 歐米ノ兵書ニ慣用サル、Art of warノ語ハ字義ニ於テ戰<sup>○</sup>爭<sup>○</sup>術<sup>○</sup>ナレトモ其實Art of warfareノ意義ニシテ凡テ兵戰ヲ實行スル技術ノ總稱ナリ、我國海陸軍ノ譯書之ヲ戰<sup>○</sup>術<sup>○</sup>ト誤譯セルモノ多シ留意ヲ要ス

一三、兵術ヲ大別シテ**戰略**(Strategy)及**戰術**(Tactics)ノ二種トス

一四、**戰畧**ハ戰爭若クハ戰役等ニ於テ敵ト隔離シテ我兵力ヲ運用スル兵術ナリ

一五、**戰術**ハ戰鬪若ハ格鬪等ニ於テ敵ト接觸シテ我兵力ヲ運用スル兵術ナリ、又戰術ハ其用ユル兵力ノ多寡戰地ノ大小等ニ準シ**大戰術**(Grand tactics)及

**小戰術**(Minor tactics)ノ種別アリ

(附記) 兵戰ノ種別カ其兵力、戰地、戰時ノ大小ニ準シ單ニ其四大別ニ止マラサルカ如ク兵術ノ種別モ亦戰畧、戰術ノ二術ヲ以テ盡セルモノニアラス、加之戰爭ト戰鬪トノ關係相連結セルカ如ク實戰ニ於ケル戰畧ト戰術モ相連繫シテ決シテ分離スヘカラサルモノナリ、而シテ之ヲ分類シテ二術名ヲ附シタルモノハ唯タ兵學上ノ便宜ニ過キス、本來兵術ハ實地ノ活術ニシテ紙上ノ死學ニアラス、兵術ヲ講究スル者此等ノ術名ニ拘泥セサルヲ要ス

一六、海上ノ兵戰ノミニ屬スル**戰略**、**戰術**ヲ**海軍戰略**及**戰術**ト稱シ、陸上ノ兵戰ノミニ屬スルモノヲ**陸軍戰略**及**戰術**ト稱ス

(附記) 戰爭ノ大ナルモノハ大抵海陸ノ兩兵力ヲ用ユルカ故ニ之レカ戰略モ海陸ノ一方ニ偏スルモノニアラス、又戰術ト雖モ戰鬪カ海陸ニ關連シテ海岸ニ起ルトキハ海陸相應シテ戰フカ故ニ

一方ニ偏スル能ハサル場合アリ、旅順及威海衛ノ戰鬪ノ如キ其實例ナリ、凡ソ地球ノ表面其水陸ヲ論セス悉ク用兵ノ戰地タラサルナキヲ以テ常ニ兵術ヲ海陸ニ差別スルモノト誤解スルトキハ遂ニ一方ノ利用ヲ偏廢スルノ弊害ヲ生ス

一七、兵術ヲ講究スルニ當リ**基本兵術**(Elementary)及**應用兵術**(Applied)ノ科別アリ**基本兵術**ハ主トシテ有形的要素ヲ以テ單純ナル數理ニ基キ斯術ヲ改究スルモノヲ謂ヒ、**應用兵術**ハ有形及無形的要素ヲ以テ地形、情勢等ノ變異ニ應シ斯術實際ノ活用ヲ改究スルモノヲ謂フ

一八、兵術ヲ實施スル爲メ兵軍ヲ指揮統率シ或ハ之レカ行動生存ヲ經理スル等ノ要務ヲ**戰務**(Logistic)ト稱ス、又兵軍ノ背後ニ在リテ之レカ軍需ヲ補給スル等ノ戰務ヲ特ニ**後方戰務**ト稱ス

(附記) 歐米ノ兵家中ニハ戰務カ兵術實施ニ密接ノ關係アルノ故ヲ以テ戰略戰術ト共ニ之ヲ兵術ノ一科トシテ講究スルモノアレトモ全ク兵術ト根原ヲ異ニスル別科ナリ、我陸軍ニテハ之ヲ帥兵術ト稱ス

一九、兵術ヲ實施スル動作ヲ**作戰**(Operation)ト謂ヒ兵術ヲ實施スル畫策ヲ**作戰計畫**(Plan of operation)ト謂フ、又戰術ヲ實施スル畫策ヲ特ニ**戰策**ト稱シ、戰術ヲ實施スル制規ノ方法ヲ**戰法**ト稱ス

(附記) 作戰ノ用語ハ固ヨリ大小ノ兵戰ニ適用シ得ルト雖トモ現時ハ主トシテ戰略實施ノ兵語トシテ慣用セラレ、戰術實施ノ用語ニハ直ニ戰鬪ノ語ヲ用ユルコト多シ (戰鬪ノ語ハ第四項ニ界說セル名稱ニ) 從テ**作戰計畫**ノ語モ戰略的計畫ノ用語トシテ慣用セラレ 又戰策ノ用語ハ我海軍特有ノ用語ニシテ他外國ニアラス、我陸軍ノ譯書マルモン將軍ノ軍制要論ニ戰策トアルハ(Operation de Guerre)即チ**作戰**ノ意義ナレハ學者之ヲ混同セサルヲ要ス

(追加) 二〇、凡テ**作戰**ニ關シ事前ノ畫策ヲ**計畫**ト謂ヒ、計畫ノ實行ヲ**實施**ト謂ヒ、實施ノ事蹟ヲ**經過**ト謂ヒ、事後ノ結果ヲ**成績**又ハ**成果**ト謂フ、又已ニ爲セル企畫ヲ**企圖**ト謂ヒ、將ニ爲サントスル案畫ヲ**意圖**ト謂ヒ、爲スヲ可トスル所見ヲ**意見**ト謂ヒ、爲スヲ欲スル**要望**ヲ**希望**ト謂フ

二一、**作戰**ノ目的トスル事件ヲ**作戰目的**(Aim of operation)ト稱シ、**作戰**ノ目的



トスル物件ヲ作戰目標 (Objective of operation) ト稱ス、例ハ敵ノ艦隊ヲ擊破セントスル事ハ作戰目的ニシテ敵ノ艦隊ハ作戰目標ナルカ如シ戰鬪ニ於テハ特ニ之ヲ攻撃目標ト謂フ

(増補) 一二一、本戰 (Main operation) トハ全局ノ作戰目的ヲ達スルニ直接ノ關係アル作戰ヲ謂ヒ、支戰 (Detached operation) トハ全局ノ作戰目的ニ直接ノ關係ヲ有セス或ハ本戰ヲ支助シ或ハ局部ノ安固ヲ保ツ等ノ目的ヲ以テスル作戰ヲ謂ヒ、不期戰又ハ遭遇戰 (Incidental operation) トハ豫期ノ目的ヲ有セス不時ニ敵ト遭遇シテ行フ作戰ヲ謂フ

一二三、戰略地點 (Geographical strategic points) トハ戰域若ハ戰區内ニ於テ對抗兵軍ノ作戰ニ間接ノ與力ヲ有スル地點ヲ謂フ、例ハ軍港、要港、要塞地、大市街其他交通機關ノ集點、或ハ潤澤ノ兵資ヲ有スル港市等ハ悉ク戰略地點ナリ

一二四、戰略要點 (Decisive strategic point) トハ戰域若ハ戰區ニ於テ之ヲ保有スルト否トカ對抗兵軍ノ作戰 (戰爭) ニ直接至大ノ與力ヲ有スル戰略地點ヲ謂フ例ハ日清戰爭ニ於ケル旅順、威海衛、京城、天津、北京等ノ如シ

一二五、戰術要點 (Decisive tactical point) トハ戰場ニ於テ之ヲ保有スルト否トカ對抗兵軍ノ作戰 (戰鬪) ニ直接至大ノ與力ヲ有スル地點ヲ謂フ、海上ノ戰鬪ニハ固ヨリ戰術要點ヲ有セス、唯々陸上及海岸ノ戰鬪ニ之アルノミ、例ハ威海衛ノ戰鬪ニ於ケル摩天嶺、趙北嘴及日島等ノ如シ

一二六、策源地 (Base of operation) トハ作戰ノ根據地ニシテ兵軍之ニ據リテ其進攻及退守ノ便ヲ得、且ツ終始軍需ノ供給ヲ仰クヘキ所ナリ、例ハ日清戰爭ニ於ケル日軍ノ佐世保軍港、山東役ニ於ケル日軍ノ大連灣等ノ如シ

(改正) 一二七、前進根據地 (Advanced base) トハ戰區ニ於テ作戰セル兵軍ノ臨時根據地ニシテ作戰中其軍需ノ補充、軍旅ノ駐止等ヲ圖ル所ナリ、例ハ日清戰爭ニ於ケル日軍ノ長直路、及漁隱洞等ノ如シ

一二八、作戰線 (Line of operation) トハ作戰目的ヲ達スル爲メ策源地ヨリ作戰目標

ニ對シ兵軍ノ運動スル戰地内ノ線路ヲ謂フ、陸上ニアル作戰線ハ大抵道路ニ據リ、海上ニアルモノハ大抵航路ニ據ル、又作戰線ハ本線及支線ノ別アリ

二九、**交通線**(Line of Communication)トハ作戰セル兵軍ノ背後ニ於テ之レト策源地ヲ連絡セル供給又ハ通信ノ線路ヲ謂フ、交通線ノ主トシテ供給ニ充テラル、モノヲ**兵站線**(Line of supply)ト稱ス

(増補) 三〇、**戰線**(Line of battle)トハ敵ト此線上ニ交戦スル線ヲ謂ヒ、**防禦線**(Line of defence)トハ敵ト此線上ニ防止セントスル線ヲ謂ヒ、**警戒線**(Line of guard)トハ敵ニ對シ此線上ニテ警戒セントスル線ヲ謂ヒ、**哨線**(Picket line)トハ敵ニ對シ此線上ニ哨備スル線ヲ謂フ

(附記) 此等ノ諸線ハ通常作戰線ト殆ト直角ニ交又ス

三一、**地形**(Topography)トハ戰地ニ於ケル水陸、山野、島洲等ヲ以テ形成セル天然ノ形象ヲ謂フ、又地形ノ高低、起伏、深淺等ニ關スル情態ヲ特ニ**地勢**(Topographical condition)ト謂フ

(増補) 三二、兵戰ニ於テ對抗兵軍ノ相對位スル姿勢ヲ**戰勢**(Situation)ト謂ヒ、戰勢ノ變移セントスル時機ヲ**戰機**(Chance or Phase)ト謂フ

(附記) 歐米ニ於テ戰勢ノ語ハ又演習ノ方略ノ語ニ用フ例ハ General or special situation (又 General or special idea トモ云フ)ト記シアルハ一般及特別方略ノ義ナリ學者之ヲ異別セサルヲ要ス

三三、兵戰ニ於テ敵ニ向テ進ミ戰フ兵軍ノ姿勢ヲ**攻勢**(Offensive)ト謂ヒ、敵ヲ受ケテ止リ戰フ兵軍ノ姿勢ヲ**守勢**(Defensive)ト謂フ

(追加) 三四、攻勢的作戰ヲ**攻戰**ト謂ヒ其ノ行爲ヲ**攻撃**(Attack)ト謂ヒ、守勢的作戰ヲ**防戰**ト謂ヒ其ノ行爲ヲ**防禦**(Defence)ト謂ヒ、我力攻撃ニ對スル敵ノ防禦ヲ**抵抗**(Resistance)ト謂フ、又敵ヲ索メテ戰フ作戰ヲ**索敵戰**ト謂ヒ敵ヲ避ケテ戰フ作戰ヲ**避敵戰**ト謂フ

三五、戰略上ニ守勢ヲ持シテ戰術上ニ攻勢ヲ執ル作戰行爲ヲ**攻勢防禦**(Offensive defence)ト謂ヒ、戰略并戰術上共ニ守勢ヲ執ル作戰行爲ヲ**守勢防禦**(Passive defence)ト謂フ

(追加) 三六、兵戦ノ後對抗兵軍力其敵ニ對シ收得スル有形無形ノ結果ヲ戰果ト謂フ  
 (増補) 三七、攻撃及防禦ノ外作戰行爲ニ左ノ數種アリ之ヲ總稱シテ行動又ハ作動ト

謂フ

- 一、先制 (To take initiative) トハ敵ニ對シ先ツ動キテ機宜ヲ制スルヲ謂フ
- 一、牽制 (To divert) トハ敵ノ向ハサル他ノ方面ヨリ敵ノ行動ヲ抑制スルヲ云フ

(追加)

- 一、壓迫 (To oppress) トハ我兵力ヲ以テ敵ノ行動ヲ抑壓スルヲ謂フ
- 一、威嚇又ハ脅威 (To menace) トハ我兵威ヲ示張シテ敵ヲ脅迫スルヲ謂フ

(追加)

- 一、誘致 (To decoy) トハ我兵力ヲ示シテ敵ヲ牽引スルヲ謂フ
- 一、封鎖 (To blockade) トハ敵ヲ一地ニ壓迫シテ動カシメサルヲ謂フ
- 一、觸接 (To touch) トハ戰フト否トニ拘ハラズ敵ト視界内ニ現在スルヲ謂フ

- 一、對持 (To confront) トハ戰フト否トニ拘ラス敵ト對抗ヲ持續スルヲ謂フ

- 一、前進 (To march or advance) トハ敵ニ對シテ進ムヲ謂フ

- 一、退却 (To retreat) トハ敵ヲ離レテ退クヲ謂フ

- 一、追尾 (To pursue) トハ敵ヲ追躡スルヲ謂フ

- 一、駐止又ハ停止 (To halt) トハ兵軍ノ運動ヲ止ムルヲ謂フ

(追加)

- 一、阻止 (To check) トハ敵ノ運動ヲ阻礙シテ抑止スルヲ謂フ
- 一、迂回 (To outflank) トハ敵ノ側方ニ運動スルヲ謂フ

- 一、展開 (To extend the front) トハ敵ニ對シ我正面ヲ擴張スルヲ謂フ

- 一、包圍 (To surround) トハ四方ヨリ敵ヲ圍繞スルヲ謂フ

- 一、警戒 (To guard) トハ敵ニ對シ自衛スルヲ謂フ

(追加)

- 一、哨戒 (To picket) トハ敵ニ對シ哨ヲ置キ警戒スルヲ謂フ
- 一、護衛又ハ護送 (To escort or convoy) トハ敵ニ對シ我力他ノ兵軍ヲ保護スルヲ謂フ

スルヲ謂フ

二、掩護(To cover) トハ敵ニ對シ我カ他ノ兵軍ノ行動ヲ護衛スルヲ謂フ  
 一、協同(To co-operate) トハ敵ニ對シ我カ他ノ兵軍ノ行動ニ協力スルヲ謂フ

(追加)

二、援助(To reinforce) トハ敵ニ對シ我カ他ノ兵軍ノ行動ニ助力スルヲ謂フ  
 一、會合(To rendezvous) トハ隔離セル兵軍カ相會シテ合同スルヲ謂フ  
 一、集合(To assemble) トハ離散セル兵軍ヲ集團スルヲ謂フ  
 一、合同(To combine) トハ二個以上ノ兵軍カ一團トナルヲ謂フ  
 一、集中(To concentrate) トハ全兵力ヲ一點ニ集合スルヲ謂フ

(追加)

一、分離(To divide) トハ兵軍ヲ分割スルヲ謂フ

(追加)

一、解散(To dismiss) トハ兵軍ヲ離散セシムルヲ謂フ

(追加)

一、連繫(To connect) トハ分離セル兵軍ノ動作ノ連結ヲ謂フ

一、連絡(To communicate) トハ隔離セル兵軍ノ意志ノ連結ヲ謂フ  
 一、搜索(To search) トハ所在未知ノ敵ヲ探索スルヲ謂フ

(追加)

一、偵察(To reconnoitre) トハ所在既知ノ敵情ヲ探明スルヲ謂フ

一、巡邏(To patrol) トハ敵ニ對シ一所ヲ巡行警邏スルヲ謂フ

一、監視(To watch) トハ敵ノ出沒動靜ニ注目スルヲ謂フ

一、占領(To occupy) トハ陣地、城砦等ヲ略取シテ之ヲ保有スルヲ謂フ

一、押領(To seize) トハ家屋、物件等ヲ略取シテ之ヲ保有スルヲ謂フ

(増補) 三八、兵戦ヲ開始スルヲ開戦(To commence)ト謂ヒ現ニ兵戦ニ從事セルヲ交戦

又ハ合戦(To engage)ト謂ヒ、兵戦ヲ中止スルヲ休戦(To cease)ト謂ヒ、之ヲ停

止スルヲ停戦(To stop)ト謂ヒ、敵ニ兵戦ヲ挑ムヲ挑戦ト謂ヒ、敵ノ挑戦ニ應

スルヲ應戦ト謂ヒ、敵ノ挑戦ヲ避クルヲ避戦ト謂フ

(附記)前記第三六乃至第三八項ノ諸用語ハ兵戦ノ各種ニ應用サル、モノナリ

三九、戦鬪及格鬪ハ其戦勢ニ準シ左ノ如ク種別ス

一、決戦 敵ニ對シ攻勢ヲ取りテ勝敗ヲ決セントスルモノヲ謂フ

一、對峙戦 敵ニ對シ攻勢又ハ守勢ヲ取り戦ヲ持續スルモノヲ謂フ

- 一、追撃戰 攻勢ヲ取り敵ヲ追フテ戰フモノヲ謂フ
- 一、退却戰 守勢ヲ取り退却シツ、戰フモノヲ謂フ

四〇、海上ノ戰鬪及格鬪ヲ其對敵方向及戰鬪距離ニ準シ左ノ如ク種別ス

(追加) 一、反航戰 敵ト逆行シテ戰フヲ謂フ

(追加) 一、並航戰 敵ト並行シテ戰フヲ謂フ

一、遠戰 約五千米突以上ノ距離ニテ戰フヲ謂フ

一、近戰 魚形水雷(乙種)ノ有効距離以外ニテ戰フヲ謂フ

一、接戰 右同 以內ニテ戰フヲ謂フ

(附記) 本項ノ用語ハ又動詞トシテ應用ス

(追加) 四一、善戰トハ戰果多大ニシテ損害少キ戰鬪ヲ謂ヒ、惡戰トハ戰果尠小ニシテ損害大ナル戰鬪ヲ謂ヒ、力戰トハ力行甚大ナル戰鬪ヲ謂ヒ、激戰トハ抵抗頑強ニシテ力行激烈ナル戰鬪ヲ謂ヒ、殲戰トハ彼我ノ殺傷多大ナル戰鬪ヲ謂フ

(追加) 四二、戰鬪ノ發端時期ヲ緒戰期ト謂ヒ、戰鬪酣ナル時期ヲ酣戰期ト謂ヒ、戰鬪終結セントスル時期ヲ終戰期ト謂フ

(追加) 四三、凡テ兵戰ニ於テ正々堂々我カ實ヲ以テ敵ノ實ニ對シ其備アルヲ攻撃スルヲ正攻ト謂ヒ我カ實ヲ以テ敵ノ虛ニ對シ其備ヘナキヲ攻撃スルヲ奇襲ト謂フ

四四、戰鬪及格鬪ニ於ケル心術的(無形)攻撃ヲ左ノ如ク種別ス

一、實擊 我實ヲ以テ敵ヲ攻撃スルヲ謂フ

一、虛擊 我虛ヲ以テ敵ヲ佯擊スルヲ謂フ

一、襲擊 我實ヲ以テ敵ヲ奇襲スルヲ謂フ

一、掩擊 我衆ヲ以テ敵ノ寡ヲ壓倒スル攻撃ヲ謂フ

一、齊擊 我兵力ヲ一齊ニ動カシテ敵ヲ攻撃スルヲ謂フ

一、總擊 我兵力ノ全部ヲ以テ敵ヲ攻撃スルヲ謂フ

一、分擊 我兵力ヲ分チ各別ノ攻撃目標ヲ攻撃スルヲ謂フ

一、順擊 我兵力ノ一部ヲ以テ交々敵ヲ攻撃スルヲ謂フ

(追加)

(追加)

(追加)

- 一、環撃 我兵力ヲ循環交代シテ攻撃スルヲ謂フ
- 一、進撃 敵ニ向ヒ進ンテ攻撃スルヲ謂フ
- 一、迎撃 敵ノ來ルヲ邀ヘテ攻撃スルヲ謂フ又邀撃ト云フ
- 一、逆撃 敵ノ攻撃ヲ反對ニ攻撃スルヲ謂フ
- 一、要撃 敵ノ來ルヲ途上ニ要シテ攻撃スルヲ謂フ
- 一、急撃 敵ノ不意ニ出テ、迅速ニ襲撃スルヲ謂フ
- 一、追撃 敵ノ退却スルヲ攻撃スルヲ謂フ

四五、戦鬪及格鬪ニ於ケル方術的(有形)攻撃ヲ左ノ如ク種別ス

- 一、正撃 敵ノ正面ヨリ攻撃スルヲ謂フ又正面攻撃ト云フ
- 一、横撃 敵ノ側面又ハ一翼ヨリ攻撃スルヲ謂フ又側面攻撃ト云フ
- 一、尾撃 敵ノ後尾ヨリ攻撃スルヲ謂フ
- 一、挾撃 反對ノ二方面ヨリ敵ヲ中間ニ挾ミテ攻撃スルヲ謂フ
- 一、又撃 接續セル二方面ヨリ敵ヲ十字ニ見テ攻撃スルヲ謂フ

一、圍撃 三若クハ四方面ヨリ敵ヲ包圍シテ攻撃スルヲ謂フ又包圍攻撃ト云フ

一、旋撃 敵ヲ中心ニシ其周圍ニ旋回シテ攻撃スルヲ謂フ又旋回攻撃ト云フ

一、突撃 敵中ニ突貫シテ攻撃スルヲ謂フ

(附記) 前二項ノ攻撃ニ關スル用語ト區別スル爲メ砲煩及水雷ノ射撃ニ關スル用語ハ射ノ字ヲ下附ス例ハ急射、挾射、齊射等ノ如シ

四六、戦鬪及格鬪ニ於ケル攻撃ノ結果ヲ左ノ如ク種別ス

- (追加)
- 一、撃退(To repel) 敵ヲ攻撃シテ之ヲ退却セシムルヲ謂フ
  - 一、撃壓(To press) 敵ヲ攻撃シテ之ヲ一方ニ壓迫スルヲ謂フ
  - 一、撃攘(To scatter) 敵ヲ攻撃シテ之ヲ分散セシムルヲ謂フ
  - 一、撃破(To defeat) 敵ヲ攻撃シテ其戦鬪力ヲ失ハシムルヲ謂フ
  - 一、撃滅(To overthrow or annihilate) 敵ヲ攻撃シテ之ヲ盡滅スルヲ謂フ

一、捕獲(To capture) 敵ヲ攻撃シテ之ヲ生擒スルヲ謂フ

四七、兵戰ニ於テ兵軍ノ敵ニ對シテ有スル心力的感動ヲ兵氣又ハ士氣(Morale)ト謂フ

四八、兵軍ノ單位ヲ集團シテ軍隊ヲ組織スルヲ編制(Organization)ト謂ヒ、軍隊ヲ數個ノ部隊ニ分別スルヲ區分(Division)ト謂フ

四九、平時ニ於ケル軍隊ノ編制ヲ平時編制(Peace organization)ト稱シ、戰時ニ於ケルモノヲ戰時編制(War organization)ト稱ス、又編制ノ永久成立シテ變更セラレサルモノヲ建制(Fundamental or Fixed organization)ト稱ス

五〇、戰鬪ニ於テ常ニ結合シテ作戰スル兵軍ノ一團ヲ戰術單位又ハ戰鬪單位(Tactical unit)ト謂フ

五一、戰爭ニ於テ常ニ結合シテ作戰スル軍隊ノ一團ヲ戰略單位(Strategic unit)ト謂フ

(附記) 戰術及戰略單位ハ各軍國ヲ通シテ一定不變ノモノニアラス、海軍ノ戰術單位ノ最小ナルモ

ノハ單艦(水雷艇ハ一個艦隊)ニシテ時宜ニ依リ一箇小隊若ハ一個部隊ノ大單位ヲ用ユルコトアリ、又其

戰略單位ハ通常一箇ノ大艦隊ヨリ成レリ

陸軍ノ最小戰術單位ハ通常一箇中隊ニシテ其最小戰術單位ハ一箇混成旅團ナリトス

五二、軍艦二隻以上ヨリ編制サレタル海軍々隊ヲ艦隊ト謂フ、艦隊ハ其大小

ニ準シ大艦隊(Fleet)及小艦隊(Squadron)ノ二種ニ大別ス

(附記) 大艦隊ハ軍艦、驅逐艦、水雷艇其他特務艦船等數十隻ヨリ編制サレ、小艦隊ハ軍艦十二隻以下ヨリ編成サル、ヲ常トスト雖トモ各海軍國其編制法ヲ異ニスルヲ以テ兵學上未タ一定ノ限界ナシ、例ハ我國ノ常備艦隊ノ如キハ即チ大艦隊ノ編制ナリ

五三、軍隊力作戰其他ノ行動ノ爲メ集合シテ形成スル制規ノ形狀ヲ隊形(Formation)ト謂フ。海軍ニテハ特ニ小艦隊ノ隊形ヲ陣形。大艦隊ノ隊形ヲ陣列ト稱別ス

五四、軍隊ノ各部隊力作戰其他ノ行動ノ爲メ定ムル處ノ列位ノ順序ヲ序列

(Order)ト謂フ

五五、軍隊ノ各部隊力作戰其他ノ行動ノ爲メ占位スヘキ相互ノ位置ヲ配列

(Disposition)ト謂フ

(附記) 前記界説ノ如ク隊形ハ形状、序列ハ順序、又配列ハ位置ニ就キテ用ユル本來ノ兵語ニシテ諸軍國其海陸軍ヲ通シテ軍隊ノ大小ニ拘ラス此ヲ適用ス、然ルニ海軍兵家中往々此ニ用語ノ意義ヲ混同スルモノアリ留意ヲ要ス

五六、兵軍ノ作戰及生存等ニ要スル需要品ヲ軍需ト謂ヒ、軍需ノ供給事業ヲ

給與(Supply)ト謂フ

五七、給與ハ其品目ニ準シ左ノ稱別ヲ附ス

一、給兵 武器、彈藥等ノ給與ヲ謂フ

一、給品 糧食、被服其他普通材料ノ給與ヲ謂フ

一、給炭 石炭其他燃料ノ給與ヲ謂フ

一、給水 清水ノ給與ヲ謂フ

五八、軍國力其武力ヲ養成シテ戰爭ニ備フルヲ武備ト謂ヒ、其兵力ヲ養成シテ

戰爭ニ備フルヲ兵備又ハ軍備ト謂フ

五九、軍國力戰爭ノ爲メ其兵軍ヲ動カシテ作戰スルノ準備ヲ整フルヲ出師準備

(Preparation for operation)ト稱ス

六〇、兵軍力戦闘ノ爲メ交戦ノ準備ヲ整フルヲ戦闘準備(Preparation for action)

ト稱ス、戦闘準備ハ其緩急ノ程度ニ準シ臨戰準備及合戰準備ノ別アリ

六一、軍國力敵ヲ防禦スルノ目的ヲ以テ其海岸ニ設置スル防備ヲ海岸防禦

(Coast defence)ト謂フ、海岸防禦ハ主トシテ要塞(Fortresses) 水中防禦物

(Submarine defence) 及水雷艇隊(Torpedo flotilla)ニ據ル

六二、海岸防禦ハ其規模ノ範圍ニ準シ全域防禦(Whole coast defence)及管區

防禦(Partial coast defence)及局地防禦(Local coast defence)ノ別アリ

六三、凡テ防禦物ハ其設備ノ永久的ナルト否トニヨリ永久(Permanent)及臨時

(Temporary)ト冠稱シ、又其移動的ナルト否トニ依リ移動(Movable)及固定

(Fixed)ト冠稱ス



(増補)

六四、要塞ノ築城ヲ其築城法ノ規模ニ準シ砲砦又ハ砲臺(Fort)堡壘(Fortalice)ニ大別シ、其防禦目的ノ方位ニ依リ正面防禦砲臺(Front)及側面防禦砲臺(Flank)及背面防禦砲臺(Rear)等ノ稱別アリ、又防禦正面ノ海陸ニ準シ海正面及陸正面防禦砲臺ノ別稱アリ

六五、砲砦ハ其築城法ニ依リ露天砲砦(Battery)穹窿砲砦(Casemate)及隱顯砲砦(Disappearing)ト稱別ス

(附言)

一、近時我國ニ於テ海軍史學上ニ海上權力及制海權等ノ譯語ヲ多用スルニ至リタルモ其意義ニ混誤アルヲ以テ自今當校ノ學科用語中ニハ一切此語ヲ採用セス。蓋シ海上權力ノ語ハマハン大佐ノ著書The influence of sea power upon history(海上武力ノ歴史ニ及ホセル影響)ノ誤譯ニ起因セル者ニテ同大佐モ該著ノ緒論ニSea powerノ意義ハ海上ノ實力ニシテ權力ニアラサルコトヲ説明シ居レリ即チ彼ノPowerハ馬力(Horse power)ノpowerト同一ニシテ

權利(Right)權威(Authority)、若クハ權勢(Influence)等ノPowerト混視スヘカラサルコト例ハ國權ト國力兵權ト兵力ト同一視ス可ラサルト一般ナリ。又Command of sea(制海權)ノ語モ實力ヲ以テ海上ヲ制壓スルノ意義ニシテSphere of influence(權力範圍)ノ權ノ如キ空權ニアラス、元來權トハ假リノ義ニテ名アリテ實ナキノ語ナリ、然ルニ兵事ハ凡テ實力ノ問題ナルカ故ニ若シ此ノ如キ誤謬ヲ永遠ニ慣用スルトキハ後進初テ兵ヲ學フ者ノ見解ヲ誤リ甚シキニ至レハ海戰ノ目的トスル處ハ海上權ヲ占略スルニアリト云フニ至ラン、斯ノ如キハ啻ニ兵戰ノ眞義ニ悖ルノミナラス戰爭ノ主體ヲ陸上ニノミ置キ海軍ハ唯々海上ノ交通ヲ開クモノ、如クニ誤解サル、ノ原因トナルヘシ、蓋シ兵戰ノ目的ハ海モ陸モ同一ニシテ主眼トスル處ハ敵ノ主力ヲ擊滅シテ之ヲ屈服セシムルニアリ、陸軍カ陸上權ノ爲ニ戰ハサルト等シク海軍モ海上權ノタメニ戰フニアラス、本來地球ノ表面其水陸ヲ問ハス悉ク兵戰場裡ナラサルナキニ拘ラス海軍々人迄カ特別ノ觀念ヲ以テ海

ヲ見ルカ故ニ斯クノ如キ誤謬ヲ生スルモノナレハ深ク戒メサル可カラス  
若シ夫レ爾後 *Sea power* 又ハ *Command of sea* ノ譯語ヲ用ユルノ必要アルト  
ハキ海上武力又ハ制海ト云フヲ可ナリトス。加之海上武力、制海ノ語ス  
ラモ過去ヲ討究スル史學上ニハ其必要モアレトモ現在及將來ノ軍事ニ用  
フヘキ兵語トシテ定メ置クノ必要ヲ認メサルナリ